

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【公開番号】特開2006-274261(P2006-274261A)

【公開日】平成18年10月12日(2006.10.12)

【年通号数】公開・登録公報2006-040

【出願番号】特願2006-81832(P2006-81832)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/5313 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 101/00

C 0 8 K 5/5313

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月27日(2009.1.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

本発明はまた、1 ～ 5 0 重量% の、請求項 1 ～ 1 4 のいずれか一つに記載のリン含有熱安定化難燃剤凝集物、
1 ～ 9 9 重量% のポリマーまたはポリマー混合物、
0 ～ 6 0 重量% の添加物、
0 ～ 6 0 重量% のフィラー
を含有する、ポリマー成形体、ポリマーフィルム、ポリマーフィラメントおよびポリマー繊維製品にも関する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 4】

リン含有熱安定化難燃剤凝集物の残留湿分含有量は好ましくは 0. 0 5 ～ 2 重量%、特に好ましくは 0. 1 ～ 1 重量%である。本発明の有利な範囲を逸脱する残留湿分含有量はポリマーとの相容性を害する。これは難燃性ポリマー成形材料および難燃性ポリマー成形体に弱い強度および弾性をもたらす。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 6】

式 (I) および (II) 中の M は、カルシウム、アルミニウム、亜鉛またはチタンであるのが好ましい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 6 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 6 2 】

有利な相乗剤は亜鉛化合物、例えば酸化亜鉛（例えばRhein Chemie、Bruggemann KG社の活性酸化亜鉛、ジンサイト(zincite)またはカラミン(calamine)；通常のア化亜鉛、G 6 亜鉛ホワイト、2011 ア化亜鉛、F-80 ア化亜鉛、Pharma 8 亜鉛ホワイト、Pharma A亜鉛ホワイト、Rotsiegel 亜鉛ホワイト、Grillo-Werke AG社の亜鉛ホワイトWeissiegel)、水酸化亜鉛、ア化亜鉛水和物がある。

【手続補正5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 9 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 9 3 】

アクリル酸またはメタクリル酸とビニルエーテル、例えばビニルメチルエーテル類、ビニルエステル、エチレン、プロピレンおよびスチレンとのコポリマーは、酸の割合が少なくとも50重量%である時に有利な助剤である。

【手続補正6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 1 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 1 0 7 】

水ガラス：

二酸化珪素／ナトリウム酸化物－モル比が1：2～4：1であるアルカリ金属珪酸塩溶液が有利である。この溶液の有効物質は5～50重量%であるのが有利である。

【手続補正7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 1 5 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 1 5 1 】

例7（実施例）：

64重量%のホスフィン酸アルミニウム、31重量%の相乗剤1および5重量%の相乗剤2よりなる3.962kgの混合物、および1.594kgの水に0.160kgのPMSを溶解した溶液から、混合、乾燥および分級を経て例1と同様に凝集物を製造する。